

グラフでみる加工食品の 生産・販売・外食等の指標



目 次

< グラフでみる "コロナショック"からの再生 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

< 今月のトピック >

農林水産物・食品の輸出動向

食品製造業の都道府県別労働生産性



1 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品の調査対象のうち、特に今般の新型コロナウイルス感染症の影響が大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

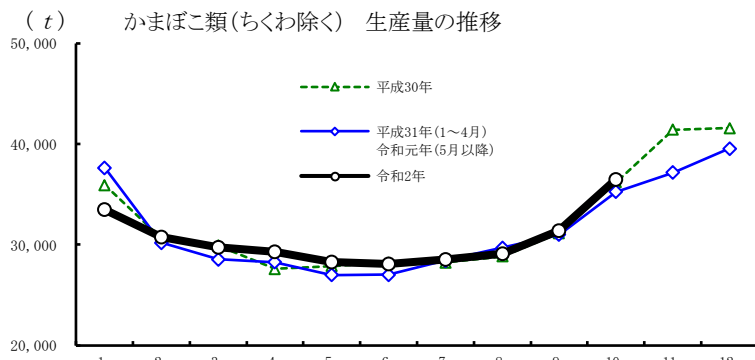
なお、なお、詳細は、<http://www.fmrir.or.jp/stat/stat.html#seizou>

「食品製造業の生産動向」をご覧ください

○ かまぼこ

生産量 対前年同月比

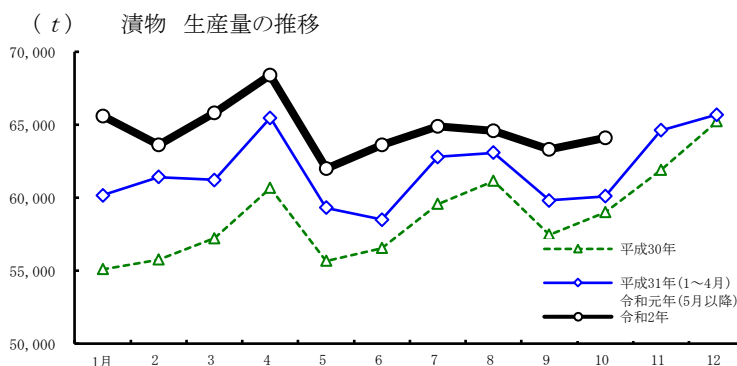
10月 3.4% 増加



○ 漬物

生産量 対前年同月比

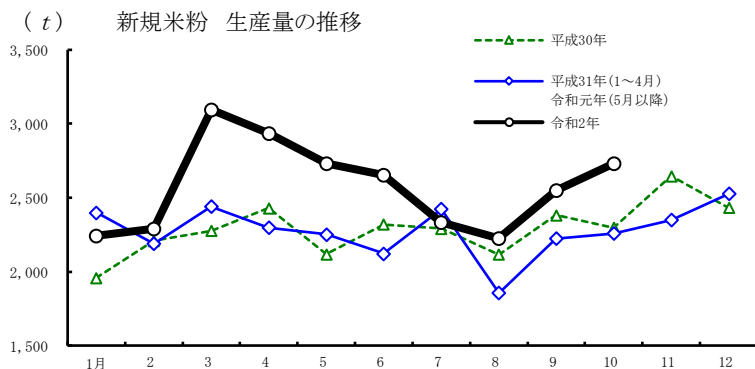
10月 6.6% 増加



○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

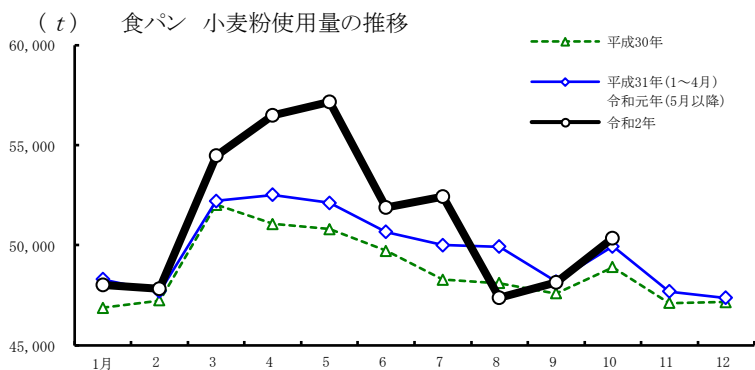
10月 21.0% 増加



○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

10月 0.8% 増加

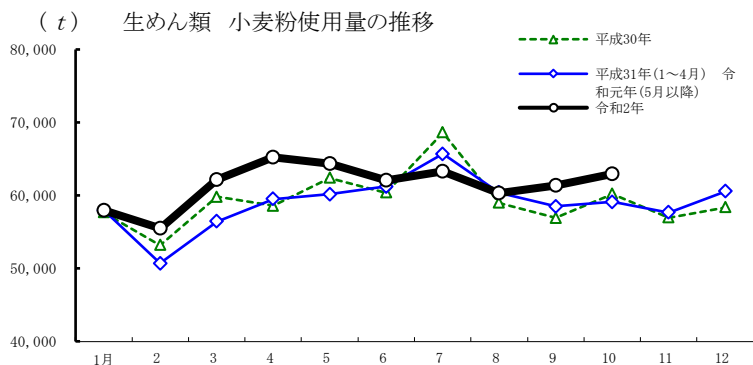


1 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

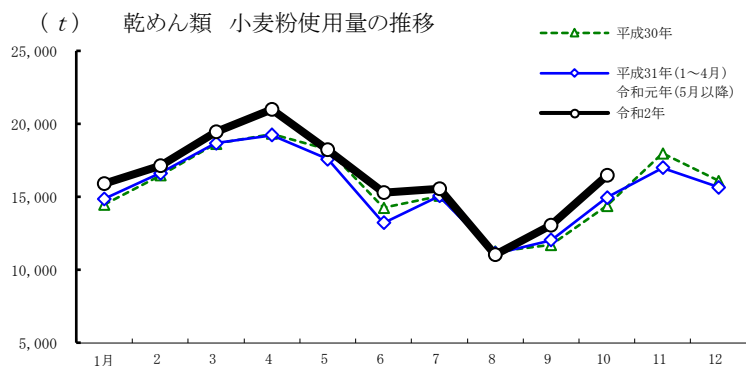
10月 6.4% 増加



○ 乾めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

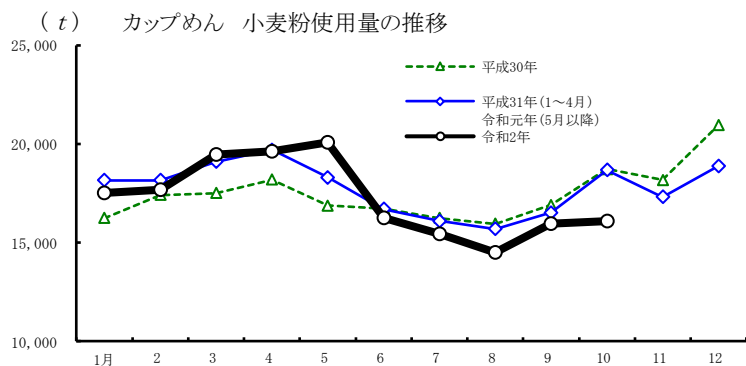
10月 10.1% 増加



○ カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

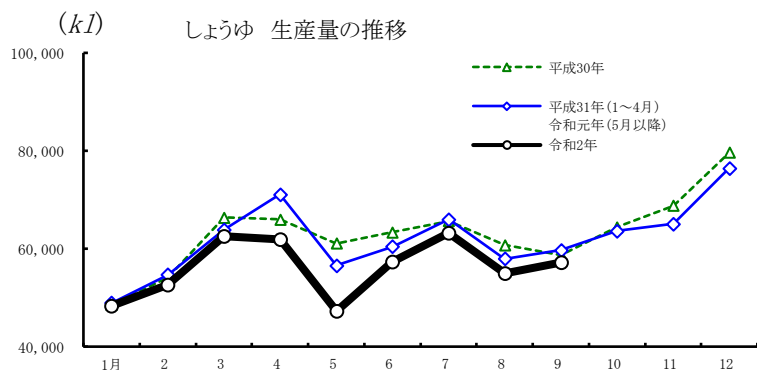
10月 13.8% 減少



○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

9月 4.3% 減少

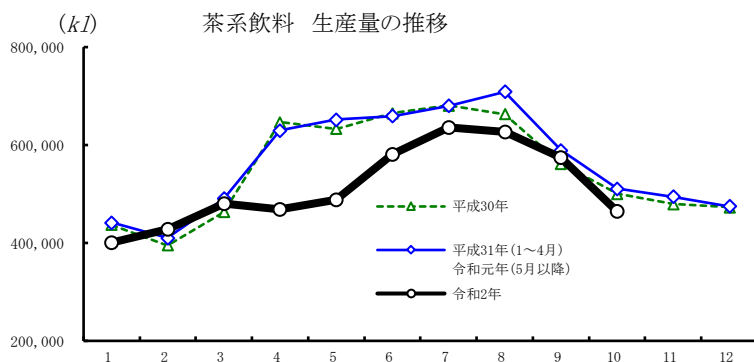


1 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 茶系飲料等

生産量 対前年同月比

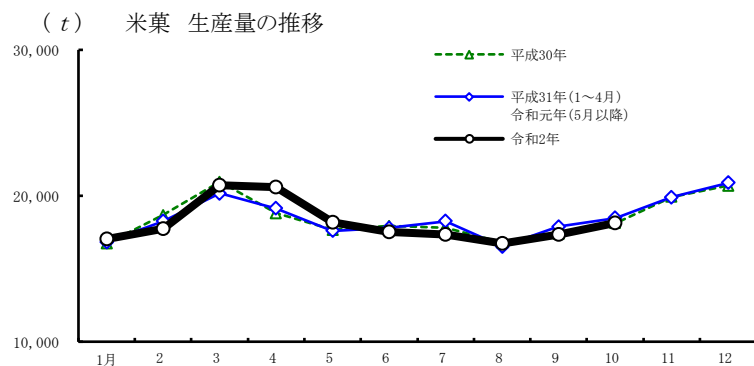
10月 9.1% 減少



○ 米菓

生産量 対前年同月比

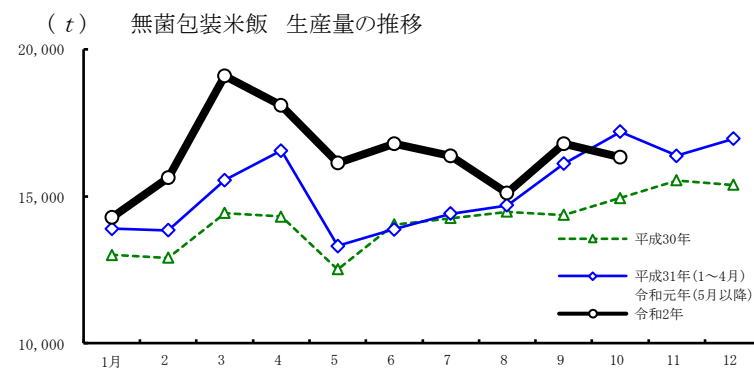
10月 1.9% 減少



○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

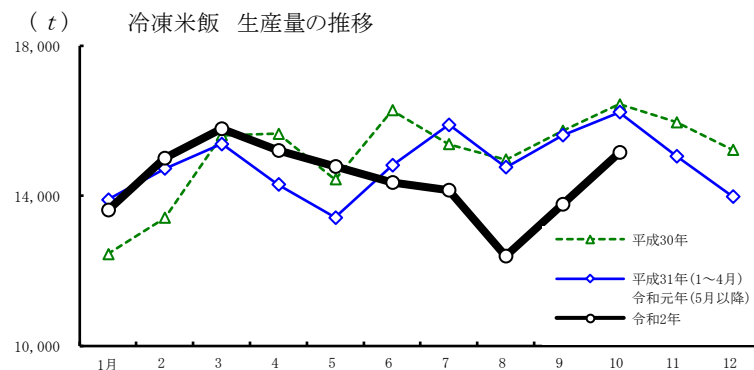
10月 5.1% 減少



○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

10月 6.5% 減少



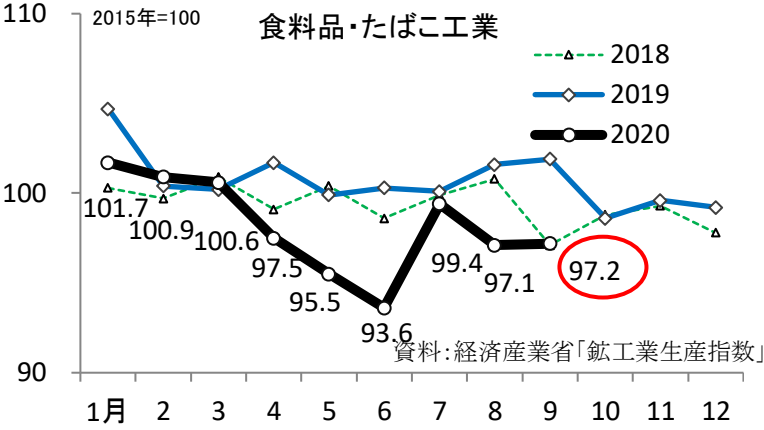
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

9月 4.6% 低下

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



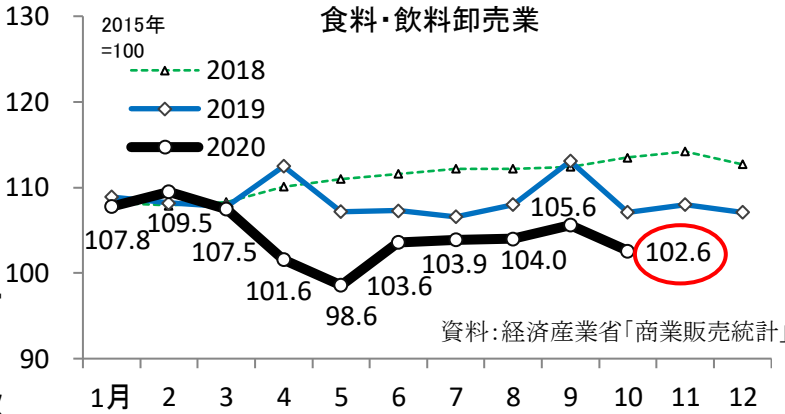
2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

10月 4.2% 減少

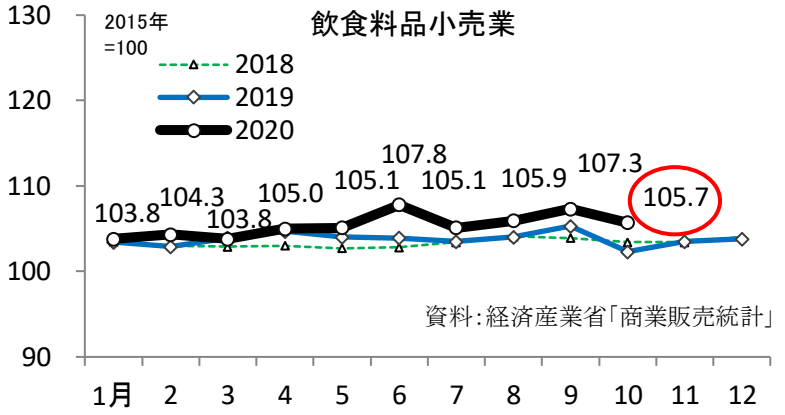
経済産業省「商業販売統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。
具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高（月次速報）について、みることができます。（以下、続きます。）



○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

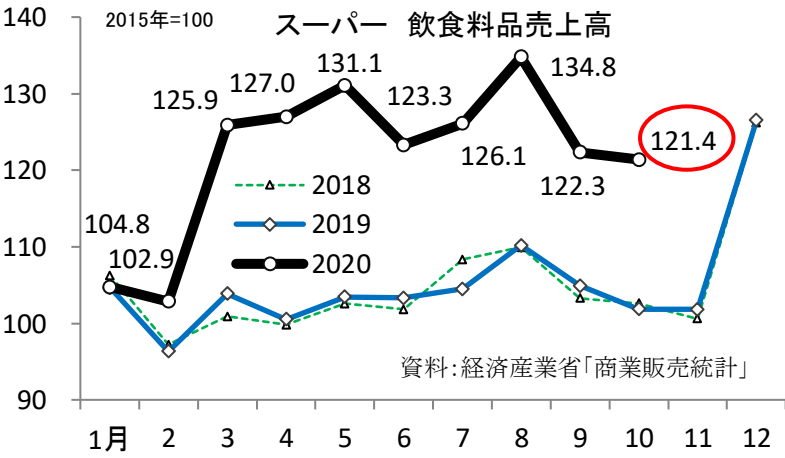
10月 3.3% 増加



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

10月 19.2% 増加

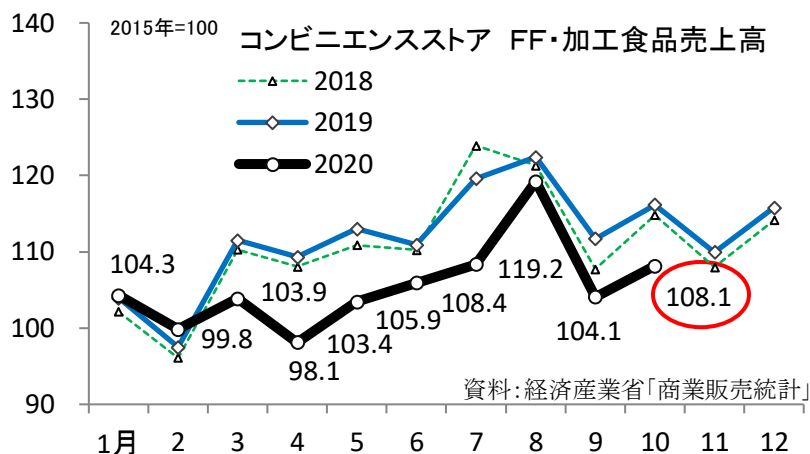


2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

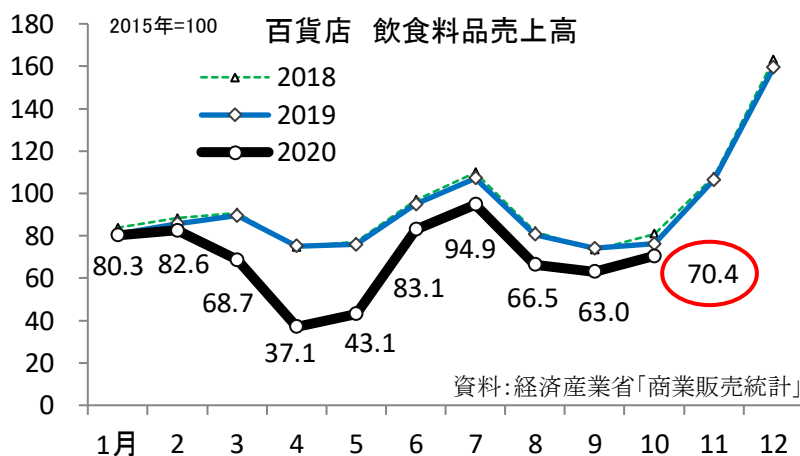
10月 6.9% 減少



○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

10月 7.6% 減少



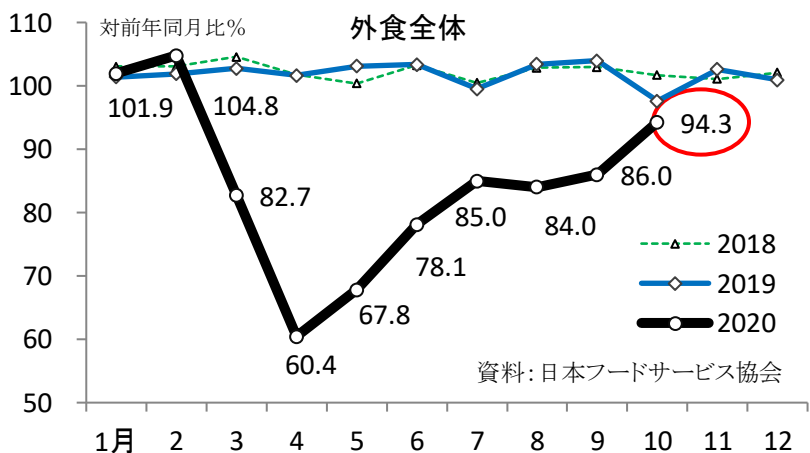
3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック">

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。
(以下、続きます。)

○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比

10月 5.7% 減少

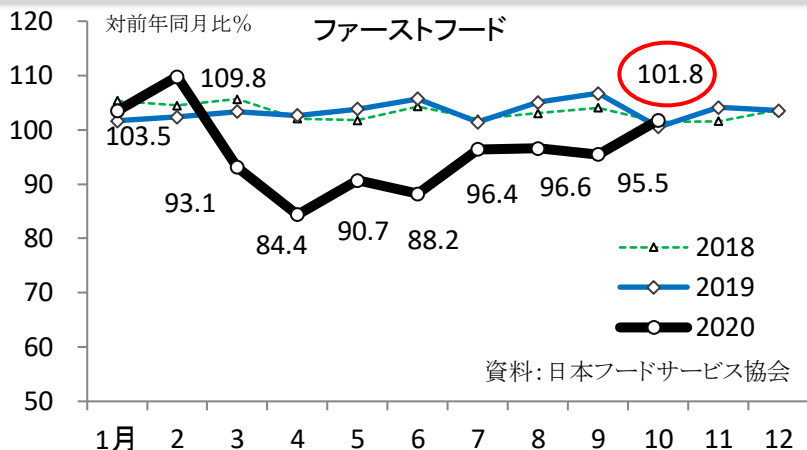


3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比

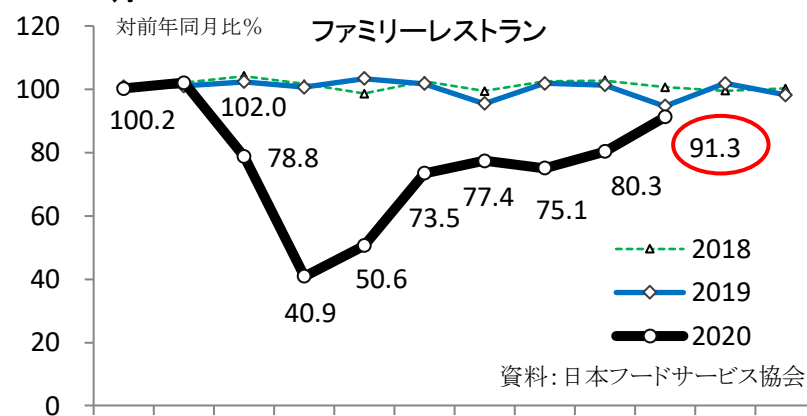
10月 1.8% 増加



○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比

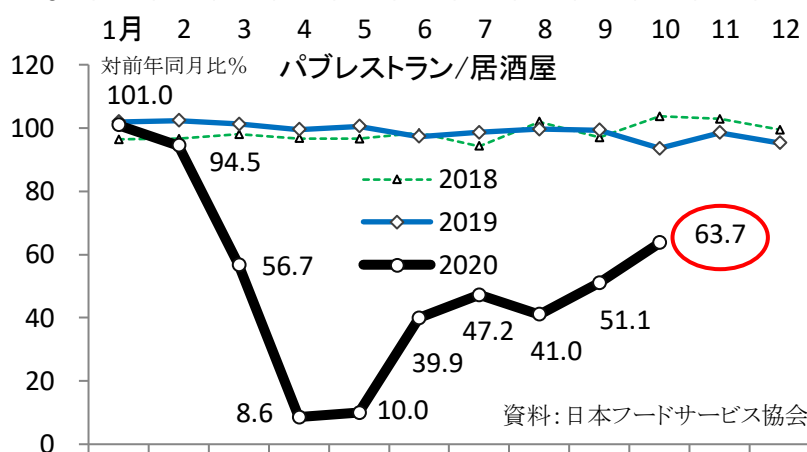
10月 8.7% 減少



○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比

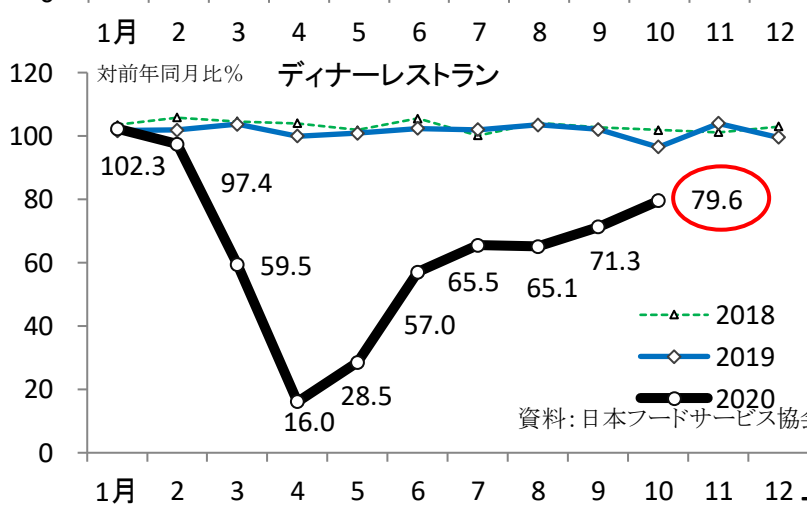
10月 36.3% 減少



○ ディナーレストラン

全店売上高 対前年同月比

10月 20.4% 減少

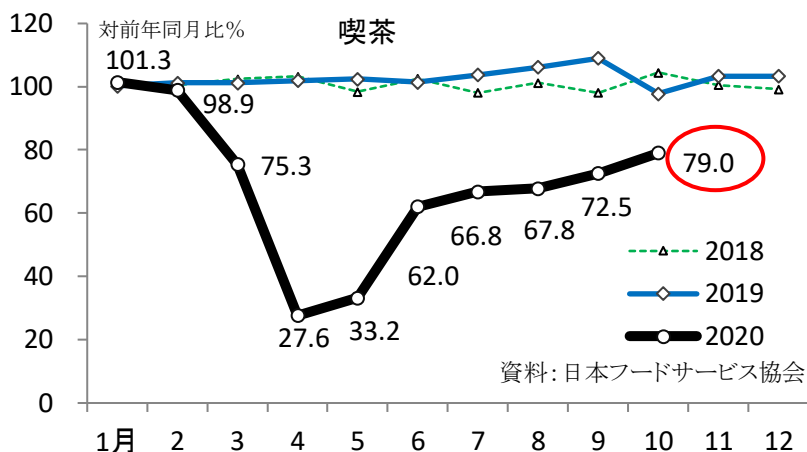


3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

10月 21.0% 減少



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

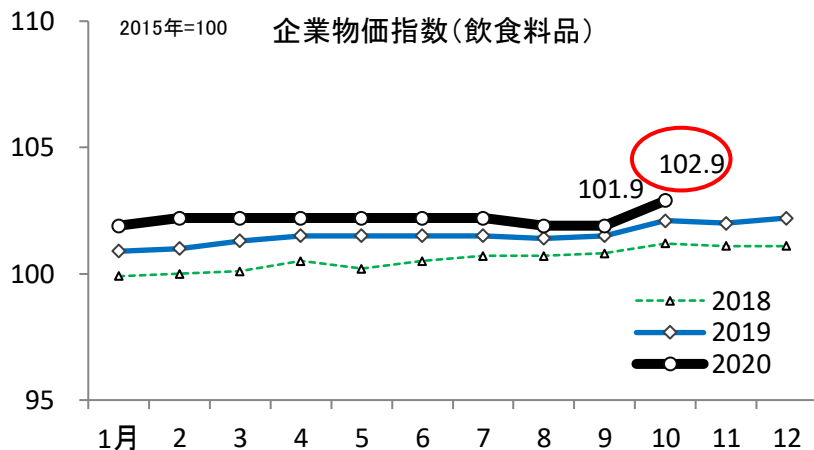
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比

10月 0.8% 上昇



資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

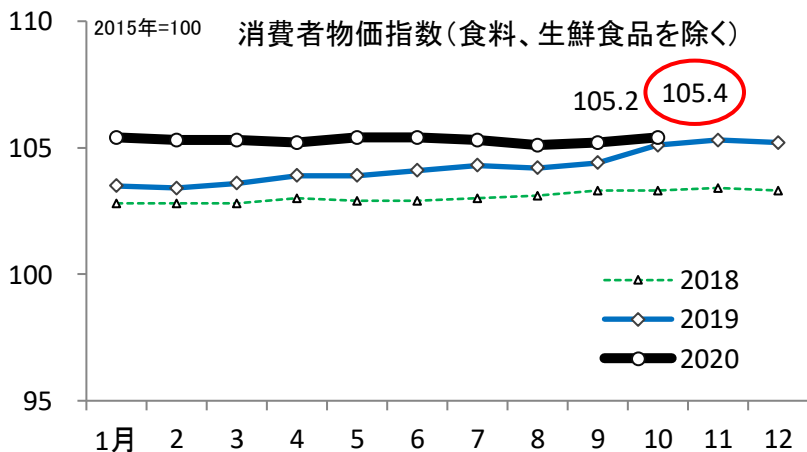
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料、生鮮食品を除く）

食料 対前年同月比

10月 0.3% 上昇



資料：総務省「消費者物価指数」

2020年10月 農林水産物・食品の輸出額

農林水産省
食料産業局

	金額	前年差	前年比
10月単月	914億円	+163億円	+21.7%
1-10月累計	7,325億円	▲71億円	▲1.0%

品目別の状況

輸出額の増加が大きい主な品目

品目	増加額	主な増加国
アルコール飲料	+25億円	中国、香港、フランス
牛肉	+13億円	カンボジア、米国、台湾
緑茶	+7億円	米国

輸出額の減少が大きい主な品目

品目	減少額	主な減少国
ホタテ貝	▲14億円	中国、米国
なまこ（調製）	▲5億円	香港
ぶり	▲4億円	米国

国・地域別の状況

輸出額の増加が大きい国・地域

国・地域	増加額	主な増加品目
香港	+62億円	アルコール飲料、菓子（米菓を除く）
台湾	+19億円	たばこ、牛肉、たまねぎ
中国	+17億円	アルコール飲料、丸太、清涼飲料水

輸出額の減少が大きい国・地域

国・地域	減少額	主な減少品目
英国	▲2億円	レシチン、メントール
アイルランド	▲1億円	生きた馬

2020年の農林水産物・食品 輸出額（10月）品目別

農林水産省
食料産業局

品目	金額 (百万円)	前年同月比 (%)
加工食品	37,153	32.0
アルコール飲料	7,230	53.6
日本酒	2,921	47.2
ソース混合調味料	3,847	34.9
清涼飲料水	3,114	25.2
菓子（米菓を除く）	2,490	19.5
醤油	801	16.5
米菓（あられ・せんべい）	438	20.1
味噌	328	3.8
畜産品	8,120	35.1
畜産物	6,423	45.1
牛肉	3,847	49.0
牛乳・乳製品	1,700	24.6
鶏卵	505	143.2
鶏肉	197	46.8
豚肉	173	26.8
穀物等	5,160	22.2
米（援助米除く）	527	26.5
野菜・果実等	5,470	20.7
青果物	3,901	20.3
りんご	1,890	3.8
ぶどう	681	38.9
かんしょ	243	31.4
ながいも	137	▲15.6
なし	59	▲1.1
かんきつ	57	108.2
いちご	16	107.2
もも	14	26.6

品目	金額 (百万円)	前年同月比 (%)
その他農産物	9,846	30.8
たばこ	1,899	31.3
緑茶	1,717	63.2
花き	480	0.4
植木等	400	▲1.9
切花	52	28.7
林産物	4,011	30.7
丸太	1,715	66.1
製材	703	46.2
合板	687	18.4
水産物（調製品除く）	16,430	5.7
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）	3,497	▲28.7
ぶり	1,804	▲17.7
かつお・まぐろ類	1,762	25.7
真珠（天然・養殖）	1,260	74.7
さば	916	129.4
さけ・ます	399	▲28.1
いわし	365	2.5
たい	315	31.2
すけとうたら	236	44.6
さんま	8	▲86.3
水産調製品	5,194	▲13.9
なまこ（調製）	1,294	▲29.1
練り製品	1,109	1.9
貝柱調製品	486	▲12.3
ホタテ貝（調製）	111	▲79.8

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

< 今月のトピック > 食品製造業の都道府県別労働生産性

	労働生産性 2017年				製品出荷額等 2017年	
	食品製造業	飲料・たばこ・飼料製造業	食品製造業	飲料・たばこ・飼料製造業	食品製造業	飲料・たばこ・飼料製造業
	1人当たり付加価値額（万円）		全国平均に対する比率（％）		（億円）	（億円）
全国計	880	2,866	100.0	100.0	290,559	95,155
北海道	787	1,898	89.5	66.2	21,752	2,232
青森	541	1,203	61.5	42.0	3,737	1,028
岩手	630	844	71.6	29.4	3,802	177
宮城	755	2,741	85.7	95.6	6,216	1,885
秋田	531	1,107	60.3	38.6	1,175	226
山形	721	1,171	81.9	40.8	3,361	477
福島	599	3,501	68.1	122.1	3,093	1,347
茨城	1,167	4,133	132.6	144.2	14,740	5,261
栃木	1,039	10,043	118.1	350.4	6,573	9,319
群馬	1,007	5,119	114.4	178.6	8,292	3,359
埼玉	955	1,846	108.5	64.4	18,892	1,740
千葉	920	3,571	104.5	124.6	15,397	3,769
東京	856	1,982	97.2	69.2	7,162	1,084
神奈川	1,137	5,006	129.1	174.7	16,053	4,232
新潟	900	1,196	102.2	41.7	7,312	794
富山	560	1,349	63.6	47.1	1,594	607
石川	593	1,067	67.4	37.2	1,888	125
福井	563	1,349	64.0	47.1	623	59
山梨	756	2,637	85.9	92.0	2,085	1,702
長野	987	1,917	112.1	66.9	5,646	1,698
岐阜	736	1,380	83.6	48.1	3,643	756
静岡	1,012	3,424	114.9	119.5	13,712	9,182
愛知	842	2,896	95.6	101.0	16,514	4,504
三重	979	1,515	111.2	52.9	4,763	881
滋賀	1,238	4,109	140.6	143.4	3,649	1,338
京都	1,061	5,846	120.5	204.0	5,494	9,127
大阪	1,105	6,582	125.5	229.6	12,615	2,493
兵庫	1,042	2,313	118.3	80.7	16,628	4,396
奈良	1,217	786	138.2	27.4	2,483	130
和歌山	628	1,193	71.3	41.6	1,759	469
鳥取	722	1,076	82.0	37.5	1,655	164
島根	486	786	55.2	27.4	726	129
岡山	981	3,975	111.5	138.7	5,247	1,553
広島	885	1,017	100.6	35.5	6,759	527
山口	784	1,210	89.1	42.2	2,398	462
徳島	652	1,900	74.1	66.3	1,454	321
香川	815	975	92.6	34.0	3,539	282
愛媛	694	3,505	78.8	122.3	2,920	973
高知	575	866	65.4	30.2	955	134
福岡	828	4,467	94.1	155.9	9,940	6,564
佐賀	792	1,031	90.0	36.0	3,543	361
長崎	640	2,268	72.7	79.1	2,826	414
熊本	732	1,525	83.2	53.2	3,663	1,251
大分	690	3,674	78.4	128.2	1,586	1,369
宮崎	660	1,930	75.0	67.4	3,826	1,672
鹿児島	649	1,492	73.8	52.1	7,002	3,845
沖縄	550	1,128	62.5	39.4	1,867	739

資料：経済産業省「平成30（2018）年 工業統計表」より作成

注：労働生産性は1人当たり付加価値額である。従業者4人以上の事業所（従業者29人以下は粗付加価値額）。